

伊豆市生活交通ネットワーク形成計画 推進事業について

1. 令和4年度 取組評価について

(1) 施策進捗状況

計画における取り組み内容		R4 取り組み目標	R4 実施状況	実施主体
【事業1】 地域ごとの交通システムの再編・導入事業		・地域づくり協議会等から地域ニーズの吸い上げを行う。 ・温泉病院の移転に伴う、地域内交通や路線バスの見直し及び検討を行う。	・住民主体の移動支援検討の場へ参画した。 ・温泉病院線の新路線案の検討を行った。	地域住民 交通事業者 行政
【事業2】 学校再編に伴う路線バス網の見直し事業		・中学校再編に伴う路線バス網の見直し及び検討を行う。	・庁内調整及びルート等の見直しについて検討した。	交通事業者 行政
【事業3】 利用しやすい公共交通・魅力向上事業	【事業3-1】 これまでに実施した利用促進事業の継続	・バスの乗り方教室を実施する。 ・方面別ナンバリングの周知継続を行う。 ・キャッシュレス決済の周知を行う。	・バスの乗り方教室を実施した。 ・デジタルサイネージでバスの運行状況を提供した。 ・広報誌でキャッシュレス決済の周知を行った。	交通事業者 行政
	【事業3-2】 各種補助事業を活用した利用促進策の充実	・いきいきバス等の補助事業の継続及び周知を行う。 ・免許返納者を対象とした移動支援の充実等を検討する。	・いきいきバスおよび高校生通学補助について HP 等で案内を実施した。 ・免許返納者を対象に、いきいきバス、タクシー券等の案内を送付した。	交通事業者 行政

(2) 目標達成状況

目標 1-1 公共交通等のサービス改善による人口カバー率 **R3 時点 71.2%** → **目標 75.0%**

目標 1-2 日中における公共交通等による高齢者人口のカバー率

R3 時点 62.7% → **目標 70.0%**

目標 2-1 市自主運行バスの利用者数

R1 時点 360,886 人 → **目標 372,000 人**

市自主運行バス	利用者数 (人/年)						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	360,886	286,064	252,812	294,876	—	—	—

目標 2-2 市民 1 人あたりの路線バスの利用回数

R1 時点 18.6 回/年 → **目標 22.6 回/年**

路線バス	利用回数 (回/年)						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	18.6	14.1	18.3	19.7	—	—	—

目標 3-1 地域協働による公共交通の維持や改善に関する検討の実施

R3 時点 2 地区 → **目標 8 地区**

地域協働	利用回数 (回/年)				
	R3	R4	R5	R6	R7
	2	3	—	—	—

2. 令和5年度 事業計画について

(1) 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通網形成計画）の取り組みの具体化・及び実施

計画における課題解決のための取り組みの実現に向け協議し、計画を作成及び実施する。ただし、新型コロナウイルスの影響により一部実施が出来ない可能性がある項目については、時勢に応じて検討する。

計画における取り組み内容		R5 取り組み（案）	実施主体
【事業1】 地域ごとの交通システムの再編・導入事業		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生や送迎バス事業者等からヒアリングを行う。 ・旧小学校区単位での地域課題の洗い出しを行う。 	地域住民 交通事業者 行政
【事業2】 学校再編に伴う路線バス網の見直し事業		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校再編に伴う路線バス網の見直し及び検討を行う。 	交通事業者 行政
【事業3】 利用しやすい公共交通・魅力向上事業	【事業3-1】 これまでに実施した利用促進事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方教室を実施する。 ・方面別ナンバリングの周知継続を行う。 ・キャッシュレス決済の周知を行う。 	交通事業者 行政
	【事業3-2】 各種補助事業を活用した利用促進策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきバス等の補助事業の継続及び周知を行う。 ・中学生高校生を対象としたバス利用促進施策を行う 	交通事業者 行政